

用語	T等級 (ていとうきゅう)	作成：2019.11.14
		改訂：
説明	建具の遮音性能を表す等級。音響透過損失から、T-1、T-2、T-3、T-4の4つの等級が規定されており、値が大きい方が遮音性能は高い。建具の遮音性能を相互に比べる場合などに用いられる。	

JIS A 4702「ドアセット」、JIS A 4706「サッシ」に規定に、図1に示すように5 dB 間隔で遮音等級線が規定されている。実験室で測定された125 Hz～4 kHz 帯域の1/3 オクターブバンドの音響透過損失、あるいはオクターブバンドの音響透過損失が全て遮音等級線以上である時、その内の最大の等級線の名前を建具の等級とする。なお、等級線を下回る値の合計が3 dB 以下である場合は、その等級とする。

図2に窓サッシの音響透過損失を遮音等級線に重ねて示す。2 kHz 帯域付近でT-2の遮音等級線を下回るが、その合計が3 dB であるので、T-2等級と判定される。

現場における建具前後の音圧レベル差の測定結果をT等級を判定することも慣例的に行われているが、上述のように実験室における音響透過損失を用いるのが規定である。

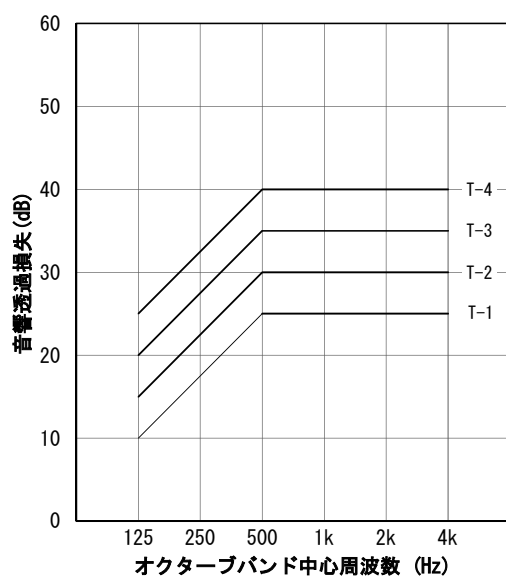


図1 T等級の遮音等級線

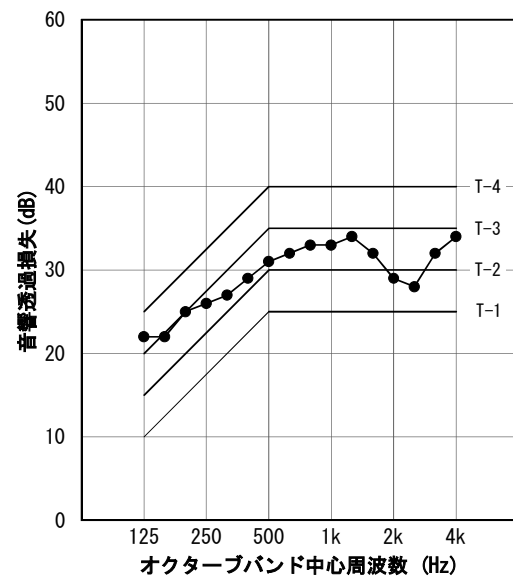


図2 窓サッシの音響透過損失の例